

501	<p>項目のア～ソの「選択肢」は不十分な設定です。4項目の解答で済まされる内容ではない。項目ごとに自由記述欄が必要なほど多くの課題を抱えた「選択肢」だ。</p> <p>岸本区政の「多様性を尊重した、住民の声を反映したまちづくり」の考えを反映した基本的な方針に「基本的な考え」を改めるべき。</p> <p>目標の「まちの骨格」も“道路整備を進める”“多心型の拠点”ではなく、ゼロカーボンシティを目指すまちづくりと区民にとって暮らしやすさを快適性、広々とした空間を配置した街に。</p> <p>言葉巧みに誘導しているが、幹線道路、補助道路の道路拡張を行えば、建蔽率など変更となり、高層建築の可能に、さらに土地の高騰を招き、住宅環境も変わり、中小商業店が行き詰まり、大規模店の進出を許すこととなり街が変えられてします。きちんと近隣住民、商業施設との協議をさらに進め、住環境への変化の影響を十分に知らしめる必要がある。</p> <p>「土地利用・市街地方針」においても、「ゼロカーボンシティを目指した土地利用の推進」「緑の保全・形成」「安心・安全な住宅環境」という住民本意に切り替え変更すべき。</p> <p>「道路整備方針」の項、幹線道路、補助幹線道路整備に当たっても、必要性の有無も含めた再検証をし、住民との対話をさらに進め、住民意見を尊重し、今までの意見集約を公開して、疑問にも応えながら再検証することが必要。</p> <p>自転車を安心して乗れる街を目指していることから、公立の駐輪場をさらに整備し、自転車ナビラインの現状を把握し、安全性を確保する施策に変更すること、「自転車専用ゾーン」を設けるなど本格的な整備が必要、今は、単なる「やってます感」の処置にすぎない。</p> <p>各地域の「具体的な方向性」についての意見</p> <p>私は、西荻窪の北側132号線沿いの地権者の一人ですが、今まで整備計画についての説明、説明会などの連絡は一切受け取っていません。一方的な印象を持っています。突然の「測量立会い」が求められ、測量の意図、計画への説明がないまま測量が先行されてきた経過がありました。今まで意見を聞いているようですが、過去の意見を公開し、近隣住民との協議により整備の必要性を検証することを望みます。</p> <p>そもそも70年前の計画を突然復活させたことのようにですが、なぜなのか、利権が絡んでいるのではないかと勘ぐります。また、「東京ガス」の緊急車両のために道路拡張が必要と取り沙汰されてきましたが、当事者の「東京ガ</p>
-----	--

	<p>ス」は撤退しています。</p> <p>今必要なのは、生活に密着した「生活道路」としての132号線です、西荻は街の中に大きな幹線道路がなく、商店も発達して穏やかで静かな住み良い街です。</p> <p>生活道路としてより安全で快適な、人と自転車に優しい道路を目指してほしい。</p> <p>拡張によって、建蔽率などが変わり、高層建築も可能に、さらに土地の高騰を招き、中小商業店が行き詰まり、チェーン店、大規模店の進出を許すこととなり住宅環境も変わり、街が変えられてします。それは、私たちが求める住み良い西荻ではありません。</p> <p>阿佐ヶ谷地域について。</p> <p>阿佐ヶ谷地域の住民として、この地域でも「都市道路計画」の整備の名のもとに事業が進められる前提にした計画になっていますが、133号線の必要性、住環境への影響、デメリットを明らかに提示して更なる検証が必要と考えます。</p> <p>阿佐ヶ谷駅北東地区についても、「道路基盤の改善」「都市機能の強化」などと綺麗事を並べるのではなく、住民本意を徹底した住民の声をさらに聞き取り、防災、安全、ゼロカーボンシティを考慮した緑豊かな環境を目指すべきです。</p> <p>パールセンターをはじめ、近隣商業地は衰退の傾向にあります。老舗がなくなり、チェーン店のみが増え続けているパールセンター、区政は地域商業の発展のために尽くすべきで、大開発により大規模商業施設を呼び込むことは街の衰退をさらに加速することにつながりと考えます。</p> <p>阿佐ヶ谷北東地区のまちづくりも、人と自転車に優しい、さらに高齢者への配慮を考慮した安全性、快適性ある住環境を求めます。</p>
502	<p>杉並区まちづくり基本方針骨子案に関する意見票に関する意見</p> <p>基本方針骨子案の答える選択肢の返答が難しく、選ぶことが出来ないので、私の意見を文章で返信いたします。私は西荻窪に44年在住です。福岡県出身でこの街は故郷です。大きな開発もなく自身の目線で小さなこだわりのお店や路地の散歩を楽しめます。</p> <p>中央線沿線の新宿駅から下り方面の駅前開発が盛んに行われ多くの街の駅周辺が大型ビル化とチェーン店化されています。西荻窪は現在132号線の都市計画道路が進められています。その先には駅前開発が考えられます。私はその為132号線の都市計画道路に断固反対です。開発によって自転車道等いいこともあります。今までゆるやかに形成された街のおもむきと生活を守</p>

		<p>りたいと思います。西荻全体の動線を考えて一方通行、となりの道路に自転車道等、自転車、小型バス、防災公園等、街のあり方を見直して生活者を新しい街との関わりを考えていただけたらと思います。とにかく急がないでください。道路計画賛成か反対かだけでなく西荻窪に生活している住人と西荻の街が好きな来客の方も多いため未来にむけて街のデザインをしてゆっくりでもいいので街づくりをして下さい。よろしく願いいたします。</p>
503		<p>都市計画道路(高円寺 221、西荻 132、南阿佐ヶ谷 133)については「住民との対話を重ねて行きます」と言われていますが計画を進める方向性については変わっていないように思える。今まで杉並区が骨子案段階で住民の意見を聞くことはありませんでした。132号線は交通、渋滞、防災など上げられています。ほとんど渋滞などしておらず、又、防災にしても杉並区の地震被害マップでは安全な地です。拡張をしなくても電柱地中下(化?)して歩道を整備してほしいです。この道路幅で実行は可能です。昔決めた古い法律のもとで事業を進めているというプロセスがおかしいと思います。土地の補償にも疑問があります。残地補償は無く、わずかに残った土地は、自分達でなんとかしろ、固定資産税は今までの数倍税金を払い続ける事とされている。納得できない。</p>
504		<p>道路整備方針「補助132号線」について 西荻窪在住、そして西荻窪を愛する者として、補助132号線の拡幅計画には大反対です。</p> <p>第1に、この計画は70年も前に作られた計画で、今この西荻窪が好きで住んでいる多くの人たちにとって必要なものとは思えません。この計画自体を知らない人たちもたくさんいます。知ったらきっと驚くでしょう。毎日のようにこの道を通ったり、横断したりしていますが、交通量も少なく、渋滞するのを見たことがありません。確かに歩道を自転車で走るには狭いところもあります。自転車は一本裏道を通ればいいだけのことで、実際裏道を走る自転車が多いです。交通量が少ないのに、車のために道路を広くする必要はありません。また、計画では西荻窪駅の南方向へしばらく拡幅したのち、急に拡幅が終わり、道が狭くなることになっていますが、危険極まりないと思います。</p> <p>第2に、道路拡幅が延焼防止のためでもあるという説明がありましたが、杉並区のハザードマップの地震で倒壊する建物のシミュレーションを見ても、この地域はかなり安全な場所です。ですから、延焼防止を道路拡幅の理由にすることはできないはずです。延焼防止が必要な地域は杉並区の中に他にたくさんあります。そちらを優先してください。</p>

	<p>第3に、この道路沿いには日々の買い物で気軽に使える個人商店や個性のある店、ギャラリーなどがあり、荻窪や吉祥寺とは違った味わいのある街になっています。道路拡幅によってこのような街並みが失われるのは耐えられませんし、そこで生活している人たちのことも忘れてはなりません。計画があるために、すでにこれまで利用していたいくつもの店が立ち退きをしているのを見るのは悲しいことです。道路拡幅によって沿道に高い建物が建ったりしたら、西荻らしさは完全に失われ、西荻の街歩きに訪れる人たちも少なくなってしまうと思います。</p> <p>第4に、補助132号線に限らず、不必要な道路拡幅は区長が基本方針に掲げているゼロカーボンシティの方向性と合わないと思います。なぜなら、道路拡幅をするために多くの建物を壊し、地面を掘り、新たな道を作り建物を建てるためには、多くの燃料を使い、多くの産業廃棄物を出し、周辺地域の空気を汚すことは間違いないからです。補助132号線沿線だけでなく、裏道にも、車の量が増えたり空気が汚れるなどの大きな影響が出るでしょう。道路拡幅工事は確実にCO2を増やします。</p> <p>このような状況なのに、多額の税金を投入して70年も前の計画通り道路拡幅をする必要がどこにあるのでしょうか。少子化の時代がやってきて税収は減るであろうのに、私たちの税金を、不必要な道路拡幅のために使ってほしくありません。</p> <p>道路拡幅よりも、減災に必要なのは歩道のあちこちにある電柱をなくし無電柱化することだと思います。歩道を無電柱化することは、かなりのバリアフリーにもなると思われます。</p> <p>大切な税金は、道路拡幅のために用いるのではなく、子育ての支援や若者、高齢者、障害者、外国人などとの共生の施設のために使ってほしいと思います。</p> <p>岸本区長は、私たち区民の声を聞く耳を持っていらっしゃるはずと期待しています。</p>
505	<p>①杉並区まちづくり基本方針の基本に「脱炭素を目指すまちづくり」を据えたこと、大歓迎です！すべての方針の中心に「ゼロカーボンシティを目指すまちづくり」の精神を大切にしてください。</p> <p>② ①の基本から考えて道路拡幅は反対です。車社会から人にやさしい社会に車減少時代ですから。221号線、132号線、133号線・・・街壊し、子どもにやさしくない、そんな道路拡幅やめて下さい。</p> <p>③阿佐ヶ谷北東地区開発が進んでいますが、これ以上緑を減らすのは「脱炭素を目指すまちづくり」に反します。杉一小は杉並区にとって「歴史」なんです。はじめての学校が今の場所にあることが大切な意味があります。だか</p>

		ら防災拠点としても高台にあることが大事ですし、病院の跡地にもって行くことだけは絶対にしないでください。
506		このアンケートの回答方式では賛成できる点とそうでない点が混在しているので一概には答えにくい。近年気候危機と言われているが想定外の大雨、暴風雨など自然災害が多い。いざというとき住民の避難場所となってきた杉一小を現在の位置より低いところに移転、建替えなど正しくない。防災の観点からも杉一小は現状の地に残すべきだ。杉並区民にとって住み良い居場所、暮らしやすいまちづくりを望みます。
507		<p>不十分な取組があれば、と書いている「都市整備部・・・」の方は何を考えているか正直言って全くわかりません。私は杉一小の移転には本当に反対です。杉一小内に作られている危険な工事用道路など許すことができません。又、その跡がデベロッパーの儲け目的の高層ビルが建つようなら、ますますうんざり。阿佐谷地域にだけCO2を吸収するみどりの保全と書いてあるのも私たちが愛していたともいえる「相沢の森」をばっさり切ってしまうって一体何のことか？道路問題にしてもそこに生き、生活している人々を強制的に立ちのさせるなどもっての他ですがこの総合方針にはそういった具体的なことが何ひとつ書かれていません。</p> <p>前区長の区民無視の悪政、区長選前に大急ぎで契約を結んでしまった等その『おきみやげ』（区民は猛反対している施策）に今、区も区民も本当に苦しめられていると思います。この骨子案のような絵空事を決めるのではなく、いったん立ち止まって区と区民でしっかり話し合うべきです。</p>
508		<p>* 方針の一つとしてゼロカーボンシティを目指すことが位置づけられたことは高く評価したいと思います。</p> <p>* これまでは、すでに決められたこととして一方的に計画が進められ、住民の声が反映されませんでした。住民の意見を聞きながら整備を検討するという姿勢も重要なことと思います。</p> <p>ひとつおりのマスタープランの説明を受けて、大筋は理解できましたが、132号線拡幅工事に対しては反対の立場で意見を述べたいと思います。</p> <p>①車道は酷い渋滞もなく、歩道もゆったりと歩けます。プラタナスの街路樹が大きく育ち、車にも人にも優しい道路です。</p> <p>②計画推進の理由に延焼遮断帯など防災があげられていますが、予想される大地震や大火災などが起きた場合、延焼遮断効果を狙って道路を拡幅するより、建物の不燃化など先にやる必要があると思います。</p>

	<p>③足を止めて覗きたくくなるような個性豊かな店が並んでいます。店主と客が親しく語り合いながら買い物をしてきた古い商店が並んでいます。未来に残したいのは、このような温かみのある街並みだと思います。広い道路に高層のマンションが立ち並ぶ都市は過去のものにしたいと考えています。</p> <p>④東京ガスが移転した後に大きなスーパーマーケットができました。この空き地の一部でも公園にできたら、どれほど未来的だったでしょう。密集した住宅街に、防災公園ができれば、道路拡幅よりもずっと効果的だと思います。樹木の茂る公園は後々まで人々に愛され活用されると思います。日本の都市は公園が少な過ぎです。</p> <p>⑤132号線道路拡幅の先に西荻駅周辺の開発や西荻南神明通りの拡幅が計画されていると聞きます。この工事の全計画はとなっているのでしょうか。長期的な見通しや予算について説明が必要だと思います。</p> <p>⑥拡幅事業を推進するプロジェクトの全容を知りたいと思います。どんなメンバーで、どのような事業者が加わった組織なのでしょう。拡幅事業を必要とする考え方を知りたいと思います。</p> <p>⑦個人の家計においては、収入と支出を常に考えます。かつて良かれと思って立てた計画でも、時代の流れの中で、優先順位を変えていきます。あるいは必要としなくなります。まして日本の経済の先行きが見えず、福祉や医療や教育にける予算が削られています。道路拡幅に緊急性はないと思います。無駄な税金の使い方であることは明らかです。ゼロカーボンの視点からも中止が必要だと考えます。地域住民も交え、本気で見直しを検討すべきです。</p>
509	<p>杉並区まちづくり基本方針骨子案について</p> <p>133号線(道路)の延伸に反対します。計画案から70年も経過し、住みやすい住宅地が形成された土地に無理矢理通すような道路ではありません。計画による五日市街道に合流するようですが、その五日市街道も1kmすると青梅街道に合流します。青梅街道のバイパスにしてはその効果に首を傾げざるを得ません。そもそも道路は整備される程、車が大手を振って人は追いやられます。これから先、人口減少というのに車のために人々の生活や善福寺緑地を破壊し、人のみならず、鳥などの生き物に悪影響のある道路は必要ありません。今すぐ見直しを！岸本区長にならなければこんな大事なことも知らないで「お上まかせ」でいるところでした。岸本区長ありがとうございます！</p>

510		<p><西荻窪を中心に> (すべてを読み込むのは困難&アンケートが答えにくい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・132号線の拡幅は止めてほしい。拡幅により駅周辺を含め高層化が可能になる。それは西荻の個性に合わない。小さな個性的な店が多く、事実、他のまちからも集客がある。町の良さを壊さないでほしい。南側のクランクも意味不明! ・今ある緑を生かしたまちづくりを。電柱地中化は拡幅しなくてもできませんか? ・自転車利用促進については、駐輪場が増えると良い。 ・何事も「脱炭素」をベースに考えれば、工事や建替えは最小限になるはず。
511		<ul style="list-style-type: none"> ・長期方針なので、じっくり説明会をしていただきたい。方針策定 2023/3 は早すぎます。 ・区民の声を十分聴いていただきたいので、17日切は短すぎます。 ・阿佐ヶ谷北東地区のまちづくりについて、杉一小学校の老朽化で立て直しなのに、なぜ現川北病院に移転するのですか? 高台であり住民の台風等災害時の避難所になっています。病院地下は薬品、瓶等危険物有りです。
512		<p>車中心のまちづくりから歩行者・自転車中心のまちづくりへと転換して頂きたい。この転換は「みどりと水のまちづくり」「ゼロカーボンシティを目指すまちづくり」へと強く結び付きます。この点で都市計画道路 特に133号線に反対します。この道路計画にかかる多くの住民が反対の声を上げています。青梅街道南側から善福寺川沿いの緑豊かで静かな住宅街が車の排気ガスと騒音に悩まされるまちへと変わってしまいます。「車より歩行者・自転車中心のまちづくりを」そして「そこに住む人達が安心して暮らしていけるまちづくり」を是非実現して頂きたい。岸本区長に大変期待しています。</p>
513		<p>募集期間が短くて、みんなに徹底されないのではないですか? 高齢者は歩けなくなります。近くにあるゆうゆう館なくさないで下さい。児童館利用する人も同じではないかと思います。</p>
514		<p>そもそもですが、意見募集の期間が短すぎます。わずか2週間の期間で区民の意見として集約しようとしているのでしょうか? 特に都市計画道路については、これまで地域住民に十分な説明もなく、住民の理解を得ないまま進められてきているのが現状です。都市計画道路について、すべての路線に対し抜本的な見直しを検討して下さい。骨子案を3月までに策定することは早急過ぎると思います。岸本区長が当選され、住民の声を聴く区政に変わったにも関わらず、都市整備部は以前と変わらず区民の声を無視しているように思います。これからの杉並区の10年のまちづくりについて、もっと時間をかけて丁寧に計画して欲しい。杉並区の区民のためのまちづくり方針として、</p>

東京都の施策に迎合することなく検討して欲しい。
骨子案内容についての意見は別紙にて記載します。

(別紙)

都市計画道路について

すべての路線に対し抜本的な見直しを検討して下さい。

道路整備方針に、地域交通の利便性・安全性向上、自動車交通に起因する環境負荷の軽減を図ると記載があるが、何を根拠に推進しているのか？下記のとおり、現在の地域状況を踏まえておらず、データに基づいて計画もされていない。

●西荻132号線：区が事前に専門機関にB/Cの調査を依頼したところ、費用対効果はわずか0.5だったにもかかわらず、公共工事を実施しようとしている。

●現在、交通量は年々減っており、杉並区内の道路交通量もデータとして減少が認められている。若年層の車離れ、カーシェアリングの時代に変化しており、車用の道路の拡張・延長の必要はない。

●防災の観点から燃焼遮断帯としての役割を道路計画で謳っているが、杉並区HP掲載の地震被害シミュレーション：現状における燃焼予測図では、133号線付近の燃焼棟数は0もしくは0から5地域であることがわかる。周辺住民に立ち退きを強いてまで燃焼遮断帯を確保する必要性はない。

●防災は大規模な道路整備よりも、地域の防災教育・ネットワークなどソフト面の強化が重要である。

●道路拡張・延長によって、住宅地・学校周辺の交通量が増し、歩行者が安全に通行できなくなる。前例として、前区長政権下では、道路拡張のため富士見ヶ丘小学校の移転が決定し、移転に伴う遠距離化と幹線道路横断による学童の負担軽減のためスクールバスが運行されている。133号線道路周辺エリアは緑地公園沿いであり、住宅地内は車を気にすることなく安全に歩行できる環境である。しかし133号線補助道路が完成し幹線道路とつながると、交通量が増すことは必然である。立ち退き区域には地域医療を担う診療所があり、地域住民の利便性は奪われ、学童や高齢者の歩行の安全も保たれなくなるだろう。

以上のことから、都墮計画道路設備は都と協議し、必要性の有無を検証しなければならない

ゼロカーボンシティを目指すまちづくり方針

杉並区はゼロカーボンシティ宣言を出しました。骨子案の軸となる方針である。みどり豊かな住まいのみやこを目指すのであれば、進行している道路計

		<p>画は、脱炭素の観点からも一度検証し直すべきでは？何十年もかけて育まれてきた緑は、壊してからでは取り戻せません。壊して新しいものを創造する政策ではなく、今あるものを守る、育てる政策を示して欲しい。</p> <p>以上</p>
515		<ul style="list-style-type: none"> ・井草の連続立体交差化は地下にするという事だったと思いますが ・西荻のレトロな通りは是非残してほしいですね ・環八沿道の交通騒音の改善を図るにはどのようにされるのか？ 沿道の住宅から立ち退きされるようになると考えます（反対） 庭園、公園は残してほしいです ・阿佐ヶ谷の河北H. Sのところの森は残して欲しかったです（前区長によるもの） あそこにいた「つみ」という鳥はどうなったのかなとかわいそうに思います
516		<p>新たに大掛かりな街の整備事業、工事をやってもマイナス面の方がかなり大きくなりますよネ。事業工事の資金は国債地方債のみですよネ。円安が増進するって事はエネルギーの90%、食料の60%を輸入に頼る日本人は益々生活が苦しくなりますよネ。経済が苦しくなれば、建設国債公債も赤字国債公債になりますよネ。132号線の事業工事が終るのは20~30年後ですよネ。やると決定した皆様のお子さんお孫さんは財政破綻の日本で生活する事になりますよネ。財務省で公文書改ザンしても誰一人責任を取らないだから財政破綻しますよネ。私は大がかりな都市整備事業に強く反対です。</p>
517		<p>【セ高井戸地域】高井戸地域（まちづくり図に載っていません）（高井戸東四丁目）</p> <p>一地域の件で怒る者です。</p> <p>①補助 215号線は前区長と三井の森を守る会との円卓会議で井の頭通りから南側に道路は造らないと合意したと聞いています。②高井戸東四丁目は集合住宅と障がい者福祉会館、公園2個（避難場所可）しか公的施設は無く災害に弱い町です。財務省所有（高井戸東4-3-23）の3F会集合住宅を売却する事になれば国の事業といわないで、杉並区で公園にするか戸建てにするかに力を貸してください。数少なくなったマンション群の無い町を守りたいと思っています。③ケア24南荻窪は遠く坂道なので住民が利用するのに苦労しています。もっと近くに設置できないでしょうか？④空き家が多く区として何点かの対策をお願いします。⑤プライバシーの名の元に本当に困っている方との連絡が困難です。民生委員と町会がもっと連携できないでしょうか？⑥基本方針達成の為、より高い協力を職員に望みます。</p>
518		<p>私は阿佐谷に住んでいます。杉並区まちづくり基本方針読みましたがよくわかりませんでした。</p> <p>しゃれた雰囲気と言われてもなァー、人によってそれぞれイメージが違ふと</p>

	<p>思います。子供老人障害者がまずは使いやすい街づくりを目ざしてほしいと思います。それは健常者も使いやすいと思うから、みどりみどりと言うのなら高層ビル駅前に建てない方が良くないかなと思います。地震があったらこわいし阿佐谷はのんびりしているところがいいと思うし緑の木をきっちゃったから本当に残念です。</p>
519	<p>最初に、26ページに及ぶ骨子案を読み、考え意見を言うにはあまりにも時間が短く住民との対話を明確にした岸本区政の基本方針を行政当局全体が受け止めていない大きな問題があります。</p> <p>住民全体への情報保障も考慮されていません。行政のホームページやYouTubeチャンネルでの発信だけで十分に知らせたと言えるのでしょうか？インターネットを使わない住民は知る由もなく、また広報でも案自体が掲載されないまま、「知りたければ窓口に出かけてこい」という姿勢でアンケートと意見を求めるのは対話重視とは言えません。</p> <p>また、なぜアンケートを取るのか理由を明らかにしてください。ネット申し込みは、当然区内の人だけでなく、区外の人でも申し込むでしょう。意図的に組織的な政策誘導の手段になりうるし、区内か区外か不明確なので区民の意見が大切にされるのかという危惧を抱きます。</p> <p>以下、具体的な意見を申し述べます。</p> <p>1、現在の道路計画について「見直す」を公約として選挙でえられて出発した岸本区政なのに、どうして以前と変わらない計画がそのまま出されているのでしょうか？</p> <p>これまでの取組がどうだったのか、住民の理解は深まったのかなど一切の検証や反省もなく続けようとしています。これから「住民との対話を重ねる」と言うだけでは、住民主権を否定するものと言わざるをえません。</p> <p>改めて「立ち止まって見直す」ことを求めます。</p> <p>2、ゼロカーボン計画と道路計画などがなぜ並列標記されるのでしょうか？自然豊かな環境を次世代に残すことは世界的に緊急課題となり、杉並もゼロカーボンシティ宣言を出しました。あらゆる施策の基本線に位置づけられるものが、単なる追記としてなぜ出されるのか説明を求めます。道路計画による現存住宅や商店・ビルの破壊と沿道での高層ビル・マンションの建設はゼロカーボンに逆行するものではないでしょうか。</p> <p>3、防災計画と道路について</p> <p>① 道路拡張の目的を「延焼遮断帯」で災害に強いまちづくりを進めるとしています。しかし、沿道沿いに高層建築物を建てて本当に都市の防災が高ま</p>

るか疑問です。風向きにより道路が煙突の役割や、強風下での飛び火などもありますし、延焼遮断帯の中は灼熱地獄と化すでしょう。

また、道路は緊急停車の車で、消防車・緊急車両も通れませんが、それでも道路拡張を行う理由は何でしょうか

②阪神淡路大災害での長田地区の経験では何より大切なのが住民の初期消火であることが明らかになっています。そのための普段のコミュニティ作りこそが求められているにもかかわらず。道路拡張はこの地域でのコミュニティを破壊します。

③不燃化住宅の推進と同時に地域に貴重な緑地（公園など）を配置し、また防災施設の整備が必要です。とりわけ木造住宅密集地である高円寺の馬橋公園のオープンスペースについて、地域住民は学習しながら防災研修設備を求めていたが他の公園施設との整合性を理由に認めない姿勢に終始した。他の区では防災資料館などを作り、住民の体験学習などで防災意識を高めているが、杉並区は一般論としていうだけで具体化がない。

④また、地域危険度調査を具体的にやったうえでの方針案骨子であろうか？例えば通学路（避難通路）にあるブロック塀がグラグラしているケースもあり、自治会や専門家交えての調査を行い、危険通路の改善については触れられていない。

4、駅周辺の「都市活性化拠点」とは何か、抽象的にしか書かれていないがタワーマンションや高層商業ビルの建設の計画を予定していないか？かつての高円寺再開発や今回の西荻窪南の駅前再開発でも高層ビルなどの建築物構想がだされています。

これらは、地価の高騰を招き、現在この街を愛して営業している人を追い出すことにつながる不安を増大させるものです。街には歴史的に作られた顔があり、それぞれの街を訪れたい気持ちが生まれます。それが同じ顔をした街にしたら何ともつまらない街にしてしまいます。

例えば、高円寺は若者の街です。だから、若い人が集まり、様々な店を構え、若い人 を呼び込んでいます。また、高円寺北の商店街は、車の通行時間が15時から20時まで制限され、安心して買い物ができる街になっています。ここに店と住民との距離を縮めてコミュニティも生まれます。様々な人の「居場所」が作られています。

この「居場所」を奪い、行き来を遮断する227号線の道路拡張と再開発などの計画の見直しを求めます。住民による「高円寺をどんな街に作っていくのか」の話し合い で決めていく過程で、街を愛して大切にしようという意識が向上します。

	<p>5、「みどり豊かな住まいのみやこ」という将来都市像に誰も異論がないと思います。けれど、現実には阿佐ヶ谷駅北東開発に見られるように逆のことが行われています。そして貴重な農産物を作っている生産緑地の減少、あるいは街で進む広い土地（家屋）が次々と相続で無くなり、かつて言われた「ウサギ小屋」が作られ、みどりも少なくなっています。いくつかまとめた緑のある低層の共同住宅プランや生産緑地の活用プランなど現実に進めることが求められています。</p> <p>6、最後に、自転車の街づくりと合わせて「ルールの厳守とマナー向上」についての意見です。区作成のビデオを見る機会がありました。頭から「ルールを守れ」「守れず事故の際の賠償」ということが強調されます。もっと人間の一生の生活を考えた視点で誰でも経験する問題としてDVD教材の作成と学習機会を作る必要があります。例えば、高齢者は白内障になり、光をまぶしく感じて見えなくなります。最近の自転車のLEDの光は強力になり上向きに照らされると目がくらみ大変危険です。また、高齢者は足が弱くなり、歩くより楽に自転車によって移動をします。ゆっくり、フラフラするのはしかたありませんが、すぐそばをスピードに任せて通られると身の危険を感じます。どのように子どもの自転車、お母さんたちの自転車の問題など実生活で誰もが安心して乗れるためのルールを求めます。</p> <p>以上、とりあえず気が付いたことを書きました。杉並区として岸本ビジョンの具体化を図るシンポジウムを開催するなど区民が考える材料を提供されることを最後に求めます。</p>
520	<p>大型開発や大型道路建設は自然破壊につながるのを止めて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すぎ丸」運行の範囲（地域）を拡大して欲しい （交通機関の不便な地域を調査し、高齢者、障害者が利用しやすい町づくりを） ・災害備蓄倉庫の増設と食糧備蓄を3日間～1週間に変更を。（増設は地域の集会所や図書館など公共施設に備蓄を） ・プラスチックの削減や、ごみ、資源の発生抑制のために食品の計り売りなど奨励してほしい ・歩道や脇道に高齢者がひと休みできるスペースやイスを整備して欲しい。 <p>※この意見募集期間が短いので、もう少しのばして欲しい</p>
521	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンシティを目指すことは、今後杉並区で安心して生活していけるかどうか問われるととても大切なことだと思います。人間・動物、生きているものたちにとって、全員に関係のあることです。防災も同様で、災害

	<p>に強い家や、7つの地域に障害者や、高齢者、赤ちゃん子どもたちが無理なく非難できる公共の施設を準備してほしいです。たとえば、学校だけでなく弱者には、集会所、図書館、区民センター、ふらっと、児童館など小規模施設を受け入れられるように整備（バリアフリー、トイレ、必要な物品など）していただけるとありがたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7地域のシとサは緑も少なく、広場也没有。これ以上建物を多くすることは防災上、危険だと思います。駅周辺も高い建物でいっぱいになると、地震の時などリスクしかありません。阿佐谷北東地域はみどりが減ってしまった分を建物にしては危険ですし、ゼロカーボンシティを目指すことに反してしまいます。 ・自転車で移動したいけれど、道路に車が止まっていると、自転車専用のところは通れず、歩道は危険になってしまい、どこを通ったらいいのか困っています。 ・公立施設は全て太陽光発電設備をぜひ取り付けてほしいです。 ・阿佐谷地域にけやきプールがなくなってしまい、子どもたちは遠くまで行かないと泳げません。是非プールをつくってください。防災用としても大切な役割が考えられます ・70年も前に決まった道路 ・駅前広場に人が座ったりできる場所がもう少しあるとありがたいです ・駅ホームドアを大至急つけてほしいです。すべての線のホームに・・・ ・目の不自由な方の目印になっている点字ブロックはとても大切です。しかし雨の日には、とっても滑りやすく何度か滑りそうになりました。何か滑らなくて安全な素材のブロックを希望します。
522	<p>私が岸本聡子を区長に選んだ訳「道路拡張反対！」</p>
523	<p>道路整備について、その近隣に住む住民、立ち退きを余儀なくされる住民の意見を十分に聞いてもらいたい。立ち退きありきではなく、現存する道路の少しの工夫で解決することもあると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高円寺地区補助221号線について、中野⇄高円寺の利便性があがるとあったが、そこを車で往来するニーズには疑問を感じる。早稲田通りと環七、大久保通りとで充分では？ ・同221号線について、現在の北側道路が車（相互方向）を人で、少々危うい感じがあるので、鉄道の高架を挟んだ南側と北側で、それぞれ一方通行にすれば北側道路には、歩道も十分確保できるのではないのでしょうか。様々な検討を希望します。
524	<p>【防災・減災・事前復興まちづくり方針】</p> <p>7つの地域ごとに予想される被害が異なるはずで、地盤、揺れ、住民環境等が異なりますので、それぞれの地域における被害想</p>

	<p>定、その後に予想される犯罪等具体的かつきめ細かな対策が必要と考えます。</p> <p>【農福連携事業の強化】</p> <p>福祉と連携につきましては、ボランティアを基本としますが、「園芸福祉士」の資格者による運営が求められますので、区独自の養成講座などで資格者の養成が必要と考えます。</p>
525	<p>田中前区長から岸本区長にかわり、広報で「杉並のまちづくりを一緒に考えましょう」と区民に呼びかける姿勢には好感がもてます。しかし意見募集の期間は短すぎます。</p> <p>基本的な考え方として「人生 100 年時代への対応」とし、目標年次は「概ね 20 年後の未来を展望しながら」としているが、20 年後の杉並区の人口構成が言及されず、未来図が描けません。元気な働き盛りの人が中心になってつくった基本方針と見受けられます。</p> <p>「人生 100 年時代」と考えれば防災の観点が抜けています。大きな道路を造れば消防車や救急車は通れますが、大きな道路を強引に造ってしまえば、地域での人々のつながりがこわされてしまいます。今、高円寺、阿佐谷、西荻につくろうとしている道路は、本当に地域住民が望んでいるのか、反対する住民がたくさんいる現在。見直してください。</p> <p>田中前区長が強引に推進した高円寺学園の建設は、教育的に問題があります。</p> <p>阿佐谷駅北東地区の開発は、田中前区長によって強引に進められています。まちづくりの目標は「みどり豊かな住まいのみやこ」としながら、阿佐谷駅北東地区のけやきやしきの森の樹木は、たくさん伐採され、目標とは全くちがう現実になっています。</p> <p>骨子案はたちどまり、住民との対話を重視してください。</p>
526	<p>地権者です。</p> <p>以前から説明会に出席しても、決まった事案は絶対進めるような対応。誠意のない対応。説明会を開いたというアリバイ作りのような流れを強く感じます。そもそもこの道路計画は昔の話では。西荻の未来を本当に見据え、活気のある街にするにはどうしていけば良いのか。ビジョンが何も見えてきません。</p> <p>具体的な方向性とありますが、そこだけを読むともっともらしいことが書かれてますが、とってつけたような印象をもちます。</p> <p>道路整備が掲げられているだけです。道路ありきの公共事業を強く感じます。一つの家一つの建物の中に暮らしている人、それぞれの人生があります。未来を感じられるような案件であれば多少の犠牲には対応も考えられますが、道路幅を広くするだけの方針には到底賛成できません。</p>

527		<p>前略。先日善福寺川緑地公園を横断する道路についての計画を知りました。善福寺川緑地のすぐ側に暮らし始めて60年になります。越して来た時の善福寺川は生活排水の汚染がひどく水は濁り泡立っていました。公園の木々も植えられたばかりで細々とした苗木が並んでいるばかり。それが今や水は澄み木々も大きく育ちオオタカまで営巣するようになりました。</p> <p>ここまで公園を育てるには、行政の方々の並々ならぬ努力があったのだと思います。今は杉並区民のみならず都市近郊に住む多くの方々の憩いの場所になっています。</p> <p>半世紀以上の歳月をかけて育てあげた緑地帯をなぜまた自らの手で壊そうとするのでしょうか。自然に配慮したとしても道路を横断させてしまえば、確実に今の緑は失われてしまいます。オオタカも戻って来ないと思います。長い時間をかけ汚水を澄んだ水にかえ苗木を大木に育てあげた熱意こそ区民都民に誇るべき事柄ではないでしょうか。150年前に明治神宮を巨大な緑地に作りあげた方の叡知と同じものが善福寺川緑地公園にはあると思います。公園ができるのに60年以上。その年月の重さを忘れないで頂きたいです。</p>
528		<p>補助132号線の拡幅事業必要も感じず、住民の反対意見を聞く事も無く進めないで下さい。</p> <p>この事業は白紙に戻して下さい。ただ、神明通りの部分、大型バスが通過する区間は道幅を広げガードレールを設置する等して欲しいと思います。</p> <p>歩道を歩いていてバスが右折するときバスボディが右腕を撫でて行きました。けがはありませんが、ちょっと怖い部分です。</p>
529		<p>脱炭素化を基本方針に掲げながら、都市計画道路は「区内19路線を重点路線と位置付けます」とうたっているのはおかしい。車の通行量も減ってきているのに、なぜ住宅街や商店街までつぶして幹線道路建設を進めるのか。行政を担当する方々も社会情勢の変化をしっかりと認識し、勇気をもって政策を切り換えてほしい。それが岸本区長を選んだ杉並区民の民意だ。</p>
530		<p>【防災・減災・事前復興まちづくり方針】</p> <p>3 地域の防災対応力の強化</p> <p>【項目】 災害時拠点施設の機能拡充</p> <p>【記載内容】 ○区立施設の改修等にあわせて、防災機能の強化や災害時の電源確保のための蓄電池配備などを進めます。</p> <p>【意見（案）】</p> <p>気候変動により頻発化する台風や局地的な豪雨、首都直下地震等に対して、平時からの事前の備えとして、「事前復興まちづくりの推進」に記載のとおり、「災害に備えたエネルギーの確保」に向けて「多様な発電手段を用いた電力供給の安定化に向けた取組を推進」し、災害時拠点施設において自立分</p>

	<p>散型電源の多重化を図ることは、災害に備えたまちづくりに不可欠と考えます。</p> <p>また、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組みとして「区立施設の改築時等においては、太陽光発電設備設置を可能な限り推進する」とされています。</p> <p>天候等により出力が不安定な太陽光発電の欠点を補い、エネルギーを効率的に利用するコージェネレーションシステム等を設置することにより、災害に強く環境負荷の少ないまちづくりにつながることから、以下のとおり変更することを提案します。</p> <p>○区立施設の改修等にあわせて、防災機能の強化や災害時の電源確保のための自立分散型電源（太陽光発電、蓄電池、コージェネレーションシステム等）の配備を進めます。</p>
531	<p>【道路整備方針について】 自転車走行帯を早急に設置してほしい。自転車走行帯（現在ある）駐・停車禁止とし、違反車両を取り締まってほしい。</p> <p>【交通整備方針について】 交通ルールを守らない自転車が多すぎる。（信号無視、右側通行、歩道通行等）区民に定期的な講習を義務付け、受講修了者にはシールを出すなど具体的取組みをしてほしい。</p> <p>【ユニバーサルデザインのまちづくり方針について】 歩道のデコボコ、段差解消を早急にして欲しい</p> <p>【みどりと水のまちづくりについて】 金太郎飴的な公園ではなく、テーマのある個性のある公園を望む</p> <p>【景観まちづくり方針について】 の内は貴重な「緑」減らさない施策を考えてほしい</p> <p>【ゼロカーボンシティを目指すまちづくり方針について】 公共交通等の電気自動車化を図って欲しい</p> <p>【阿佐谷地域について】 補助133号線不要。住民との対話を重ねるとあるので、十分対話して下さい</p> <p>全体的に「みどり豊かな住まいのみやこ」と言いつつ、何ら新しい取組はなく、いつまで同じ事を言っているんだ！という感想を持ちました。</p> <p>山田区長の時に中杉通りを自転車と自動車が安全に走行する事ができる為の試みとして、自転車道（駐車帯を一時併催して）を設定したが、利用が少なかった？のか、元通り駐車帯になっているし、相変わらず歩道狭く、デコボコあり、自転車も走って、杖をついた人、車椅子の人など安心して通行できていない。新たな道路を作るより、既存の道路の段差、幅、電柱地中化するなどやる事があるのではないか。緑の保全で屋敷林などまとまった緑を保全すると言っているのに、阿佐谷駅北口の屋敷林は伐採をゆるしている。言う</p>

	<p>事とやる事が違っている。杉一小を河北病院の跡地に移設するという、桃園川暗渠があり、地盤は軟弱、現に河北病院の金網が傾いているし、そもそもハザードマップで赤（浸水地区）になっている場所に学校をもっていくなんてナンセンス！！</p> <p>何にしてもまず地域住民（区民）の声を良く聞いてから施策を考えること、計画を目指すことを、恐れて区民の声を聴かないのは行政のやる事ではない。</p> <p>本天沼集会所の桜の大木を伐採するのは「緑豊かな住まいのみやこ」に反する。大木を伐採して細い草木を植えて、緑被率は同じという考えはおかしい。CO2の吸収率が大木と、そうでない木では違う。良く考えれば分かること。</p> <p>「みどり豊かな住まいのみやこ」について、23区似たりよったりのスローガンで「杉並の独自性」が出せているのかよく考えて欲しい。</p> <p>山田→田中と区民の声を聞かない区長から、新区長は区民の声を「聴く」と言っている事に期待している。</p> <p>区議会議員も新区長のあげ足取りしていないで区民の声を聴け！！</p> <p>◎意見票の作り方が悪い。区民の声を「聴く」きがあるのか疑問な作りだ。</p>
532	<p>阿佐ヶ谷地域への具体的提案</p> <p>① 阿佐ヶ谷駅周辺の開発：JR阿佐ヶ谷駅の南北にある広場はバス発着場や交番、喫煙場、休憩に利用されているが、ここにJR線路を跨ぐ5階建以上の駅ビルを建設して、1～4階にJR阿佐ヶ谷駅施設、バス乗降発着場、自転車置場（駐輪場、）商品搬送駐車場、にし、5階から上を跨線建物にして商店等を入居させる。</p> <p>駅西口にも改札口を新設し、現在の中杉通りガード東側JR線路下の商店街は現状を維持するが、将来は中杉通りを旧桃園川緑地と大久保通りへの接続も考えられる。JR阿佐ヶ谷駅南北の広場は若干狭くなるが、立派な樹木は保存し、喫煙所、トイレ、休息用椅子等も残置する。</p> <p>②南阿佐ヶ谷駅周辺の交通対策：南阿佐ヶ谷駅周辺はバス、自動車、自転車、歩行者の交通量が多いので、東京メトロ・南阿佐ヶ谷駅南北にあるエレベーターに接続する歩道橋を新設したらどうか？現在のエレベーターを大型化し、歩道橋に接続して自転車も渡れるようにしてはどうか？現在、殆ど使用されていない青梅街道の荻窪3丁目と成田東5丁目の歩道橋を撤去して南阿佐ヶ谷駅交差点に移設すれば、新設歩道橋の建設費を節減できる。南阿佐ヶ谷駅周辺にある杉並郵便局側とみずほ銀行側にもエレベーターを新設してはどうか？さらに、荻窪駅北口（みずほ銀行支店前）と青梅街道の環7道路交差点西側に現存する歩道橋も、ほとんど使用されていないので調査の</p>

	<p>上、撤去や移設を考える必要がある。</p> <p>② 阿佐ヶ谷駅南の中杉通歩道をどう改善するか？：阿佐ヶ谷駅から南阿佐ヶ谷駅前までの中杉通は通行量が多いのに車道も歩道も狭いため、歩道の改善には困難がある。歩道にある大型樹木は保存し小型植木を撤去して、歩道幅を部分的に拡幅して車道側を自転車優先にして、自転車1台走行に限定する。撤去した歩道の小型植木の跡には、バス停を中心に3人用ベンチを1~2台置き、1人用肘掛けをつける。歩道には出来るだけ公共施設（公衆電話等）を設置しない。</p> <p>青梅街道は長いので調査の上、バス停付近の低い植木を撤去して肘掛付きの3人用ベンチを1~2台置く。車道左側を自転車1台専用道にして、自動車等の一時停車位置を出来るだけ減らす。</p> <p>阿佐ヶ谷駅南側の中杉通にはボール街（商店街）への商品配送用駐車が多く、将来的に駐車場等の新設を考慮する必要がある。</p> <p>③旅客大型バスから小型バスへの転換を検討されたい：</p> <p>現在、杉並区では東京都営バス、京王バス、西武バス、関東バス等のバス運行企業が大型バスを運行し、杉並区内では小型の杉まるバスが運行されている。バス運行企業の大型バスは乗車客数が少なく空席が目立つようなので、杉並区がバス運行企業に、バス小型化を要請してはどうか？タクシー業界ではすでに小型車が導入されている。燃料の世界的高騰もあるので、今後バス料金の値上げが予想されるので、杉並区では、バス運行企業に利用客と運行経費の調査を要請し、バス小型化による燃料費節減と乗車料引下げ検討を要請する必要がある。通勤者、学生等が多い時間帯には小型バス運行を増加させても、運行サービスは変わらないと思われる。まずは、世界的に続く燃料高情勢の対策として、大型バス運行状況と運行費用の調査を依頼したらどうか？運輸省や東京都も関係するが、世界的に燃料費が高騰し、乗客の所得も不安定な情勢なので、杉まるバスの実績がある杉並区に至急に対応を提案したい。以上</p>
533	<p>○区民の声が反映されていない（全般的に）</p> <p>○約30年後にゼロカーボンシティを目指すのに緑をなくし、道路拡張は逆行している</p> <p>○阿佐谷北東地区まちづくりについて</p> <p>杉一小は、なぜ移転するのか？</p> <p>老朽化したのだから、現在地に建替えを！</p> <p>台風等、災害時の避難場所になっている現河北病院は、低地で地下に危険物が散乱している。</p>

	<p>○中杉通りは緑を守るためにも、人にもやさしい街にするためにも、先ず、週1日でも歩行者天国にして欲しい。(とりあえず北側だけでも)</p>
534	<p>(1)意見集約期間が余りにも短いです。骨子案に対する意見を求めることは画期的なことだと思います。が、この骨子案(26ページ)を読むのは相当時間がかかります。多くの方は、1日から17日までの期間ではとても十分な検討が出来ません。少なくとも住民が検討するためには、もう少し期間を延長して頂きたいと思います。そして、十分周知する時間と機会、住民が検討する時間をとって頂きたいと思います。</p> <p>(2)杉並の将来像として「みどり豊かな住まいのみやこ」を掲げていますが、この骨子案には、その具体的指針ともなるべき「杉並区は2050年ゼロカーボンシティを目指します」という宣言が十分に踏まえていないのではないのでしょうか。そこには、「区民や事業者の皆様とともに脱炭素社会の実現に向けた取り組みを強力に進めます」と述べてあります。基本方針にはこの視点が欠けているのではないのでしょうか。これでは、せっかくの宣言が全く意味を持たなくなります。</p> <p>(3)特にそのことは道路の拡張・延長問題に典型的に表れています。これらは、「みどり豊かな住まいのみやこ」とか「2050年ゼロカーボンシティを目指す」ということと全く反するものではないのでしょうか。そのため、これまで該当する地域の住民たちにより、繰り返し区に要請書などが出されてきました。しかし、田中前区長は全く聞く耳を持たず、強行しようとしてきました。ですが、その田中区長は6月の区長選で敗れました。住民はそうした田中区長にノーを突き付けたのです。そうして「対話を重視」し、「ゼロカーボンシティ」を積極的に進めようとする岸本聡子区長が誕生したのです。ですから、この道路問題はその観点から全面的に考え直すことが必要ではないのでしょうか。</p> <p>(4)そもそも。その道路拡張・延長などの計画は70年も前のものが土台となっています。しかし、その間杉並の街は大きく変わりました。すでに、計画道路の所には多くの住民が住んでおり、また多くの商店も立ち並んでいます。また住民たちの努力でできた緑地公園もあります。そのため、田中区長の時代から、その地域の住民たちは繰り返し、計画の変更・凍結などを求めてきました。そして、新しく岸本区長になったので、すでに以下のような要請も出されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助221号線拡張事業計画の見直しを求める要請(2022年7月11日) ・「東京都市計画道路補助線街路132号線事業見直し」の要望書(2022年

7月13日)

・都市計画道路補助133号線延伸に関する申し入れ書(2022年7月14日)

こうした住民の声を無視して進める区政は一体誰のための区政なのでしょう。是非、住民の声を聞きながら、すばらしい「みどり豊かな住まいのみやこ」、「2050年ゼロカーボンシティ」を目指してほしいものです。

(5)この基本方針骨子案に盛られている道路拡張・延長問題は、現在の世界と日本の新しい流れとも逆行しています。国土交通省は今年4月に改正の「都市計画運用指針」で、次のように述べています。

- ・長期間着手されていない計画道路は、社会情勢を踏まえ見直しを進めよ
- ・関係市町村の意見も十分尊重せよ。

また、同様の指示は、平成12年以来すでに3回行われており、全国の自治体で都市計画道路の見直しが進み、計画を廃止した路線が増えている。大阪府(170Km)、仙台市(69Km)、さいたま市(45Km)、千葉市(36Km)などです。

世界では、都市部に自動車が入れないようにしているところが増えているようです。バルセロナ、ハンブルグ、オスロ、コペンハーゲン、パリなどの例があるようです。杉並区もこうした先進的な例を研究し、道路計画を再検討して頂きたいと思います。

今あわててやれば、30年後、50年後の杉並区民から批判されるでしょう。

(6)聞く所によりますと、計画を進めれば、中央線沿線の駅(高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪、西荻窪)周辺を再開発し、そこにタワーマンションができるようになるようです。そしてそれを推進しているのは、デベロッパーという不動産開発業者だということです。つまりは、彼らの莫大な利益のためにそうした計画を売り込んでいるのです。しかしこれは、「みどり豊かな住まいのみやこ」、「2050年ゼロカーボンシティ」を根本的に破壊することになるでしょう。なぜなら、駅周辺に人口密集地をつくれれば、環境面、交通面、防災面、公共施設配置の面などで大きな問題を抱えることとなります。また、地域のコミュニティがなくなり、少子化の進む日本では30年、50年後にはそのような地域がゴーストタウンになりかねません。防犯上の問題もでてくるでしょう。それより、現在のように、人々が比較的まばらに住み、それぞれの地域に必要な商店や病院や公共施設やなどが存在し、子どもや老人たちにもやさしく、人々が安心して暮らせるようなまちづくりをすべきで

		<p>す。それが「みどり豊かな住まいのみやこ」「ゼロカーボンシティ」杉並ではないでしょうか。</p> <p>(7)これまでの計画にとらわれず、もっと広い視野、長い視野で、つまり全国や世界の動向をよく見つめ、研究して、今後の杉並区の街づくりを考えて頂きたいと思います。</p> <p>杉並区の良い所を壊すようなことがあってはなりません。</p>
535		<p>道路整備について</p> <p>両親から引き継いで70年以上がたちましたが、そもそも住民から道路整備をして欲しいと言う要望はしていません。静かな住宅地・緑多い町をなぜ分断してまですすめるようとしているのか。今世界は自然をまもり、ゼロカーボンに進んでいるように抜本的な見直しを含めた検討をして下さい。</p> <p>◎それぞれの個性を生かしたまちづくりは、分断して、壊して破壊することではありません。</p>
536		<p>南阿佐ヶ谷、都道133号線計画について</p> <p>周辺住民としてはその必要性をまったく感じず、突然浮上した70年前の計画を実施との話におどろいています。この地域を永住の地と決め25年前に移住した者にとっては、まさに「寝耳に水」。地域医療の拠点になっている診療所や人々の住み続ける権利、つくり上げてきた絆。そして何よりこの地域を故郷と思い育てている子ども達（近所の神社でのもちつき、豆まき、ラジオ体操etc）の思い出までをうばってまでたった数Kの道路が必要なのではないでしょうか。</p> <p>そして、住民へのていねいな説明もなく。誰のための計画道路なのか……。それと共に緑豊かなこの地域を次の代まで残し、そして、これから育ちゆく子どもたちが「ここに生まれて良かった」と思えるまちづくりこそが今1番求められていると思う。地域の中で共に育ち生きるまちづくり。その為にはまずは拠点になる児童館は何としても残したい。我が家の孫は、今は最優先が「児童館で友達と遊ぶ事」安心して遊べる公園、環境が少なくなっている今、児童館は子供たちを守り育てる唯一の安心できる場です。1学校区1児童館の存続を切に願います。</p> <p>子ども達、大人達すべての人の笑顔あふれるまちづくり切望します!!</p>
537		<p>年金生活者にも利用できる、安心、安全な特別養護老人ホームが作られることを望みます。</p>
538		<p>・国土交通省は都市計画道路の見直しを各都道府県に指示しており、大阪、仙台、さいたま、千葉市など計画道路の廃止を進めています。指示は、平成12年から3回行われているのに、東京都はこれを無視して70年前の法律違反の事業を進めています。小池都政は指示に従うべきだと思います。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区の道路整備については、住民から整備の要望はしていません。すべての路線については、抜本的な見直しを含めて検討してください。都内第一番に指示に従うこと。 ・地球温暖化を防止するためにもコンクリートの面積を拡げないように。人間はもとより動物、植物にこれ以上害する事業は必要ありません。「緑の豊かな杉並」にするためにも自然を大切に努力をすべきです。税金は住民に役立つように使いましょう。 ・私は昭和 14 年から杉並に住んでいて杉並第二小の卒業生です。今、校庭の樹木は無くなり（樹齢 100 年のイチョウ等）衰れな状態で悲しく怒りを感じています。まだ立派に使用出来る校舎をこわす（築 5,60 年だから）理解出来ません。
539	<p>具体例が地図に表示されてるだけで、一体これで何を理解しろと言ってるんだらうと驚いています。安心安全を謳っているけれど聞こえてくるのは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校が高台の一等地から病院跡地に移されること。そしてすでに大切な樹木が 60 本以上も切られてしまったこと。水害や投棄物の被害が発生する。 ・商店街では、商売が続けられなくなる不安につけ込んで、それこそ札束でほほをなでる類の利害が発生していること。 ・住宅地では、長年住み慣れた地を立ち退かねばならない。見馴れた木も切られてしまう。また、移転するにしても移転先などみつからない。等々降って沸いた計画による理不尽に翻弄されてる声ばかりです。 <p>戦争中に建物疎開というのが、防災の為と行われたことがあります。今また同じ事がこの杉並で起こるのでしょうか？ 理不尽さにおいては変わらないと思います。絶対反対です。このまま強行することは許せません。</p>
540	<p>私は成田東に自宅を購入し 27 年程となります。都市計画道路が、一部自宅を通っておりますが、不動産屋さんいわく”実現はありえない”との事でした。勿論、購入価格も近くの土地と同額以上で買いました。私が一番この成田東を好きになった理由は”静かで緑多く公園も近く、かつ南阿佐ヶ谷駅にも近い”といった理由です。</p> <p>当事者の私が、この都市計画道路の実行を知ったのは、反対運動の人々からのチラシ、集会が初めてでした。東京都、杉並区からはまったく通知すら受け取っておりません。都の小学校での説明会では、”住民の合意を得て、また、住民のための安全な道路をつくるため”との説明でしたが（都の嘘の説明）。</p> <p>（2 回の小学校での説明会に集まった数百人の杉並住民のほとんどの人々は反対していました）</p> <p>当事者の私には、まったく通知すらなく、また、”車の通行が増えれば”、騒</p>

	<p>音、ハイガス、振動、交通事故等が増え、都道路には絶対に反対致します。</p> <p>この車の減少社会において、都の南北道路の為に、杉並区の緑多き環境が、破壊されるのは間違っています。</p> <p>(小・中学校性の通学路でもあります。)</p> <p>前前の山田区長は、道路建設反対だったとのこと。私や多くの賛同者は道路計画見直しを公言した岸本さところ区長殿に投票いたしました。道路をつくることにより、静かな環境に平和に暮らしている何百件もの杉並区民の家を破壊し追い出す、金を使う為だけの公共事業に反対していただきたく思います。大阪府では車減少社会により車道を減らし、歩道にしているとか。</p> <p>最後にフジテレビで杉並区の数人の区議員が寝ている姿が放映されました。寝ている区議員は全員辞めていただきたく思います。</p> <p>2022年10月17日(月) 都市計画道路に反対いたします。</p>
541	<p>133号線は住宅を壊し、住んでいる人間の生活を壊して作ろうとしています。そこまでして作る必要はありません。道路整備は住民からの要望ではありません。</p> <p>是非、見直しを含め検討をして下さい。住民は全く望んでいません。</p>
542	<p>杉並区のまちづくり基本方針骨子案に関する意見を申し述べます。</p> <p>1. 世代を超えて、誰もが安心して住みやすいまちづくりを実現してください。</p> <p>行政は何かというと、駅前の賑わい重視のまちづくりを施策に掲げますが、重視すべきことは、そこに住んでいる人々が住みやすく、安心安全な生活を送ることができるまちづくりを行うということではないでしょうか。そうした観点で、杉並区がまちづくりの基本に置いていた7つの地域と41の小学校区を中心としたまちづくりという原点に立ち返るべきではないでしょうか。</p> <p>杉並区のどんな地域でも、園庭のある充実した「保育園」があり、乳幼児から高校生までが自由に出入りできる「児童館」があり、お年寄りが気兼ねなく集い、健康を保持していくことに不可欠な「ゆうゆう館」があり、会議やレクリエーションで個人や団体が低廉な料金で利用できる「区立施設」があり、歩けば、近くに緑豊かな「公園」がある、そんな当たり前な街がそこにあることではないでしょうか。緑と豊かな住宅のまちをめざす杉並のまちづくりの骨格にこうした考え方を真っ先に取り入れてください。</p> <p>その意味で、全廃を予定している「児童館」や「ゆうゆう館」について、検証と見直しを検討してください。</p> <p>2. 道路整備方針について</p> <p>都市計画道路は、何十年も前に策定された道路計画で、策定当時と街並みの</p>

状況はまったく違っています。そこには商店街や住宅街などまちの姿が定着されたかたちで存在しています。法律的な計画があるからそれを実行するという考え方ではなく、今のまちの姿にあった道路づくりを行ってください。車中心の道路づくりではなく、自転車走行や歩行のために有効な道路づくりを行ってください。また、道路開発は「ゼロカーボンシティ」に反します。そのような観点からも見直しを図ってください。

都市計画道路補助 132 号線について

戦後復興の真っ最中の昭和 22 年に策定された道路計画です。当時は、このような計画が必要だったかもしれませんが 75 年が経過した今では街の状況が一変しています。肉屋さんや八百屋さん、個性豊かな飲食店などみんなに愛されている商店街を道路拡幅により変容させないでください。

自動車道路拡幅は容積率の拡大により高層ビル建設が可能になり街の姿を変えてしまいます。西荻らしさを存続させてください。多くの個人商店の営業を守り、地域経済を維持発展させるためにも道路拡幅計画について、立ち止まって再検討してください。区長は区の施策については、「区民の声を聞く」と約束しています。であるならば、本道路計画について域住民および杉並の全住民の声をよく聞き、その声を反映させてください。

都市計画道路補助 133 号線について

本道路計画は成田東 4 丁目などの完成された住宅街を貫通するもので、そこに居住する多くの住民が立ち退きを強要されることとなります。住宅街に道路の延伸目的に新たな道路を造ることは地域住民も杉並区民も望んではおりません。車中心の道路計画を見直すようお願いいたします。

都市計画道路補助 227 号線について

高円寺の商店街は杉並の歴史が作り出した魅力ある商店街の一つです。純情商店街を貫通する道路計画に反対です。区民が安心して買い物ができる商店街を壊さないでください。道路を延伸しなくても、現状で車の運航に支障をきたしておりません。この計画を実行しないよう強く要請します。

3. 阿佐谷地域のまちづくりについて

阿佐ヶ谷駅北東地区開発計画について

本計画は一部実行に移されていますが、以下のような見直しを検討してください。

① 河北総合病院新規建設に伴う樹木の復活について

けやき屋敷跡地に河北総合病院を建設することになっていますが、伐採された樹木を復元させる意味で、病院敷地内に現在計画している植樹計画を上回る新たな植樹ができないか検討してください。ゼロカーボンを目指す杉並区にとって樹木を増やすことは最重要課題です。

② 杉一小学校について

	<p>現行計画では、杉一小学校は病院跡地に移転することになっていますが、この計画を見直し、現行のまま存続させてください。杉一小学校の老朽化が移転による新規建設の目的ですが、学校は既に耐震補強を辞実施しております。給食室も改造済みです。壊す文化ではなくヨーロッパのように直して持続する文化を選択してください。</p> <p>杉一小は高台に設置されており万一の災害の際の避難にも最適な立地にあります。現状から2メートルも3メートルを下がったかつての湿地帯でハザードマップでも水害が予測される移転先は小学区用地としても住民の避難場所としても適しておりません。地域住民の声を聞き、本計画の見直しをお願いいたします。</p> <p>③ 阿佐谷地域区民センターについて</p> <p>本年開設した阿佐谷地域区民センターについて、以下のように改善を要望いたします。</p> <p>① 使い勝手について</p> <p>◇阿佐谷地域区民センター」の外部表示について</p> <p>遠くから見ても一目瞭然に「阿佐谷地域区民センター」であることが分かるように、外部壁面に表示をしてください。現状の手書きではなく業者による表示板版を設置してください。</p> <p>◇1F エントランスに各部屋どこにあるか分かり易い案内板を設置して下さい。多くの方から現状では分かりづらいとの声が挙がっています。</p> <p>◇1F に設置している各部屋利用者の電光案内版は回転式になっていて、固定されていません。固定式で、一目で確認できるものに変更してください。多くの方から現状のものはわかりづらいという声を聞きます。</p> <p>② 屋上庭園について</p> <p>本センターの開設について、住民説明会で屋上庭園について説明があり、それなりの植樹を期待していましたが、樹木が少なくがっかりです。緑を増やしてください。旧アンサンブル荻窪のようなビオトープのようなものの設置も考えてください。</p> <p>また、自然エネルギーのは活用も重要課題です。屋上の一部に太陽光パネルを設置し、本施設の電気がそれで賄えるよう検討してください。</p> <p>本センターはけやき公園と一帯なっています。かつての公園の樹木が、かなり伐採されてしまいました。現状では、まだまだ樹木が不足しています。新規の植樹を検討してください。さらに、子育て中の若い夫婦が子どもをつれてこの公園に遊びに来ています。かつて同公園には水場があり、夏場には多くの子どもたちで賑わっていました。水場の復活を検討してください。</p>
--	---

		以上
543		<p>▽杉並区で生まれ育った人間です。都心から杉並にも戻ってくるとホッとします。高層ビルが消え空が広くなり、緑が増え、空気も違うからです。</p> <p>▽私たち杉並の財産は、この緑豊かな住宅地と個性あふれる商店街があることだと思います。</p> <p>▽都市計画道路や駅前再開発は、この杉並の大事な財産をなくしてしまうと思います。車より人、環境優先の時代にも逆行しています。</p> <p>▽50年後、広い道路を車は走っているでしょうか。駅前のタワーマンションに人は暮らしているでしょうか。</p> <p>▽杉並区の将来と財政をしっかり見据えて、政策を見直すようお願いいたします。</p>
544		<p>これからの都市計画は、自動車交通より歩行者優先とした整備方針に改めるべき時期に来ていると考えます。</p> <p>基本方針骨子案において、「将来のまちの骨格」と「脱炭素を目指す街づくり」については、示された方向で実現に向けて力を注いでいただけるようお願いいたします。</p> <p>項目ア～ソについて、 説明文は文字が小さく読みづらいが、一応、読むことはできます。ただし、各項目の図は、大きく示し、しかも現況図に重ね合わせていただきたいです。これらの図では、計画対象がどこなのか、まったく理解できません。住民に意見を求めるなら、分かりやすい図を示すべきです。これらの図で、どれだけの意見が聞けるか想像すれば、再度、作成し直さなければならないことは、明白です。</p> <p>項目ア、イ、ウについて、 人口、経済、交通量の将来予測値を示す必要があります。特に、道路整備方針は、最新のパーソントリップ調査および交通量調査結果を基にして予測する将来交通量を示して交通計画を策定するのが基本であると考えます。予測なしに道路整備方針を策定したのでしょうか。平成29年3月のすぎなみの道づくり（道路整備方針）の資料に、平成20年のパーソントリップ調査結果が示されています。それによると、杉並区の自動車の総トリップ数は、1日あたり90,232トリップで、総トリップ数に対する自動車のトリップ数は平成10年の15.3パーセントから平成20年は9.8パーセントに下がっています。</p> <p>しかし、平成20年3月に示された将来道路網の計画延長は、326キロメー</p>

トルとなっており、将来的に減少すると予測される自動車交通を考慮した計画とは考えられません。今回、計画延長が示されていませんが、前回と同じような計画延長にしようとしているならば、その考えを改める必要があると考えます。

杉並区の道路整備方針は、現況および将来の交通量を基にして必要性があるものについて説明し、整備するのが基本であると考えます。

項目エ〜クについて、

概ね理解できますが、できればもう少し詳細な説明を求めます。

項目ケ〜ソについて、

各地域の具体的な方向性は7つある地域のまちづくり方針図に示された計画対象となる住民の意見をより多く取り入れるという観点から、7地域すべてにおいて個別に説明会を行うようお願いいたします。このことは、区長が表明されていることですので、近いうちに実現していただきたい。

阿佐谷地域についての意見を述べます。

都市計画道路補助133号線の整備は、最新のパーソントリップ調査および交通量調査結果を基に将来交通量推計を行い、整備の必要性を検討する必要があると考えます。過去における整備の必要性を示す資料を見せていただきたい。

補助133号線の有無による交通量の推計を行えば、整備の必要性を示す重要な説明資料となります。杉並区において、南北の交通の流れの特性を把握することが重要です。交通発生起点と終点を分析して、補助133号線がなければ南北の交通が、どの周辺道路に分散され、周辺道路にどのような影響を与えるかを考慮して整備方針を作成していただきたい。

生活道路の整備は、先に述べたとおり、将来的に自動車交通が減少傾向にあると予測されるので、他地域も含めて大幅な整備は必要がないと考えます。どうしても、整備が必要との要望がある地域についてのみ、対象地域の住民の要望に沿って、整備を進めていただきたい。こうした思い切った計画が望ましい。

五日市街道から高千穂大学横までの生活道路については、早急に解決しなければならぬ問題があります。

現在、東京都が善福寺川の河川改修工事を進めており、善福寺川を拡幅しよ

		<p>うとしています。これに伴い上記生活道路に含まれる大成橋の架け替えをしなければなりません。今年度中に工事の発注が行われる予定と聞いており、架け替え予定の大成橋の幅員は現在の5.5メートルから9メートルに拡幅して設計及び予算を組んであるようです。この大成橋の拡幅は、杉並区の道路整備計画を受けたもので、3.5メートルの拡幅部分の工事費は杉並区の負担とするとの協議がすでに済んでいるようです。杉並区が負担する工事費はいくらでしょうか。</p> <p>この生活道路は、部分的に4メートルの幅員しかないところがありますが、大部分は、5～6メートルの道路幅があり、交通量は、1日あたり1,000台未満のごく普通の道路です。今回の整備方針では、将来交通量が示されていませんが、今後、交通量は道路を広くしない限り増加するとは考えられません。よって、前回の整備方針のように9メートル道路にする必要は全くないと考えます。</p> <p>このまま、工事を進めれば、大成橋だけが、9メートルの幅を持った橋として残ることになり、善福寺川の景観上、問題ありと考えます。善福寺川沿いは多く歩行者が行き交う場所で、不思議な橋の存在は、どのような評価を受けるのでしょうか。</p> <p>また、現道のままの幅員で架け替えが行われれば、杉並区の財政負担の軽減に寄与することになるのではないのでしょうか。</p> <p>よって、直ちに大成橋架け替え工事の変更をお願いいたします。以上</p>
545		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域災害時の避難場所が実際に対応できるのか。大規模避難訓練を実施できることを望む。 ・ 防災放送が聞きにくい ・ 災害にむけて助成金の充実（耐震など）
546		<p>都市計画道路には反対します（現状やニーズに合いません）。</p> <p>ゆうゆう館を減らさないでください。そして利用料金を上げないで下さい。住民の意見を取り入れる姿勢と行程をひきつづき進めてください。</p> <p>介護認定に時間がかかります。せめて申請に1ヶ月以内に出してください。</p> <p>コミュニティバス「スギ丸」君の利用にシルバーパス使用OKにして下さい。</p>
547		<p>新しい区長の誕生で、今までの区民の声が何一つ取り入れられなかった区政が変わってくれるのではと みんなが期待しています。国政でも、人々の声をまず先に聞いていればというシーンが多い昨今、今回「緊急、杉並区に貴女の意見を送りましょう」というチラシがポスティングされていたことに、とても好感を持っています。是非、「先ず聞く一議会で煮詰める一企画予定の結果を発表する一反響を見る一実行内容を公表する」という、民主主義では当り前のプロセスを歩んでもらいたいと思っています。</p>

杉一小学校 建てかえに関して

阿佐谷に住むものたちの多くは 新宿方面から電車で帰ってきた時、車窓から××の森を目にし 安堵感を得ていました。しかし 心無い計画のお陰で、本当に無念な思いをしています。森は××××の物かもしれませんが、みんなの心の宝で、誇りでさえありました。

杉一小学校の土地を高層化して 多目的複合施設にする案が持ち上がった時には、多くの人の意見で、纏まったのだからと皆も受け入れ、楽しみにしていました。しかし 河北病院と××××と前区長が、この計画を 白紙に戻してしまいました。住民は、しつかり見ている、あちこちで反対の会が催されましたが、住民の願いは受け入れられず、現在に至ってきています。

××××は、目貫通りに商業ビルを建てれば、経済的に潤うでしょう。しかし長い目で見て、200年近くかけて育った森を残すことは、××××の名を高め、尊敬に値することで、お金では買えない、素晴らしい事だと思えます。区の長である立場の方は、そういった話を××××に伝え、「名誉区民」に推薦するなどとか 説得する立場なのではなかったのではと思えます。

最初の複合施設案には、ある程度区民は納得していましたが、それは、区民の声を聴いて進めていたこともありました。しかし、河北、××の話が舞い込んで来たときには 多くの人が「許せない」という気持ちになりました。

森が無くなるかも・・・どうしたらいいかとみんなで話し合いました。

私達は、できれば××の森を、森の小学校として、ユニークな教育を取り入れた

何処にもない 杉並独自の学校を夢見ていました。これは夢のような意見かも知れませんが 100年かけて育った森を、そのまま学校にしたらどんなに素敵かと・・・

病院に関しては、絶対目立たないところであって欲しいとの意見も多くありました、病んでいる時には、そっとしておいてほしいし、便利さより、心を大事に考えてほしいと・・・。

夢や希望が受け入れられなくても、皆で考え出した考えを受け入れる覚悟をしていました。しかし、みんなの意見で出来上がっていた初期の計画（杉一小学校の土地を高層化して 多目的複合施設にする案）は、いつ誰が、何故

	<p>変更してしまったのか、うやむやのまま進み、強硬な建設計画を発表し、表向きの説明会をして、樹木の伐採が強行されてしまいました。今は、皆が寂しい思いをしています。温暖化が進み、自然保護が叫ばれている中、心無い進め方は残念でなりません。</p> <p>一部の人の利益の為に 計画を勝手に変更してしまった事は、民主主義に反した前区長の無責任さ以外の何物でもありません。</p> <p>今からでも、残っている樹々を何とか残し、できればあの土地を将来を担う子供たちの為、更に、区民の喜ぶ形に、に有益な計画を考えられないかと考えています。</p> <p>××××が、商業計画をされたい望みは、ご自分の為であり、小学生の為、住民の為ではありません。河北は、ひっそりと、もっと駅から離れたところでも良いくらいですし、救急搬送の必要な小さな地点を 利便の良いところに別に設けるなどすれば、今のままで良いのではないのでしょうか。建て替えて、設備も新しく立派にしたい河北さんのご希望も分かりますが、器より、医療技術や恕を充実させて欲しいものです。</p> <p>新区長の、地に足の着いた誰もが納得できる采配に、大いに期待をしています。 私達は、自分の意見でなくても、正しい道筋で決まった事は受け入れたいと思います。</p> <p>新区長はじめ、区政にご尽力されて下さっている皆さん、区民の為の、長い目で見た より良い施政を お願い致します。</p>
548	<p>○防災に関して 区内公園の大部分にトイレは完備されていますが、”水“に関してこの公園に”井戸水“を配置したらいいと思います。</p> <p>○交通に関して 側溝のため道路が斜面となり車椅子は危険で通行しにくい。側溝でなく中央溝にして道路幅も拡がると思います。 道行（交）法は車優先です。学校付近などは人優先にしていくべきではないのでしょうか。</p>
549	<p>①震災対応のヘリポートとトリアージ病院の連携計画。被災地への搬出を目指す。（東京都、練馬区、世田谷区、防衛省、消防庁、医師会）</p> <p>②無年金者向けの短期日払いの仕事</p> <p>③独居世帯の安全を担保するお対応施策</p> <p>④あそび場がほしい</p>